

学習展開例

対象校種：小学校 授業時間 90分

対象教科：総合



西条市教育委員会
指導担当専門員
山内雅博

執筆

人間のいのち、動物のいのち 何を考え、どう行動するか

児童生徒の思考の流れと活動の流れ		教師の支援と評価
<p>共同生活 水・食べ物・生活用品など物資が少ない</p> <p>家族や知りあいの安否がわからない これからどうなるんだろう</p>		<p>○避難所での生活について、知っていることを聞く。</p> <p>○避難所の写真を提示し、気付いたことや考えたことを聞く。</p> <p>○被災したのは人間だけでなく動物園の動物も同じであったことを伝え、動物はどうなったかを問い、問題を生む。</p> <p>○『かわいそうなぞう』の絵本などを読み聞かせし、戦争時の動物の扱いについて理解を深める。</p> <p>○図書館やインターネットなどで調べることができるようにする。</p> <p>○児童の求めに応じて番組を紹介し、まるごと視聴しながら、動物のいのちがどうなったのかをつかむことができるようにする。</p>
<p>人間のいのちでさえ危険な状況の中で、動物園の動物たちのいのちはどうなったんだろうか？</p> 		
<p>逃げ出す？</p> <p>食べ物は？</p> <p>人間優先？</p> <p>お世話は？</p> <p>動物園の動物たちのいのちは、どうなったんだろうか。震災直後、実際の動物園で、だれが、どんなことを考え、何をしたのかもっと知りたい。</p>		
<p>番組まるごと視聴（43分）</p> 		
<p>動物たちのいのちが守られた理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飼育員の動物への思いやりと愛情 ・本当に一つのいのちとして、動物を大事にしている ・動物たちの元気な姿は、たくさんの人に元気を与えるから ・たくさんの人々の協力のおかげで、動物たちのいのちが守られている 		<p>○番組視聴でわかったことや考えたことを、グループで共有したあと、学級で交流する。</p>
<p>人間のいのちが危険な状況下でさえも、動物園では動物のいのちを大事にし、守り抜いた。これは、動物園に関わる人々が、人間のいのち、動物のいのちを分け隔てなく、大事にする姿勢が大きかった。また、これまでの震災と教訓を基に、全国のたくさんの関係者が協力したことが大きな支えとなった。</p>		<p>【思考・判断・表現】 動物園の動物たちのいのちが守られた理由について、考えることができたか。</p> <p>○人間のいのちも危険な状況で、動物のいのちを守り抜いたことをどう思うのか問いかけ、いのちについて考えることができるようにする。</p>
<p>もっと震災後の生活について調べてみたり、いのちについて考えたりしたい</p>		

※防災の学習を進めるにあたっては、東日本大震災で被災した人々の証言を中心にまとめられている「東日本大震災アーカイブス (<http://www9.nhk.or.jp/archives/311shogen/>)」の資料が大変参考となりますので、ご活用ください。